

つなげよう つながろう
ふたばのわ

「ふたばのわ」は双葉町の結びつきを深めるためのコミュニティ紙です。自治会・団体の活動紹介や町民同士の新たな交流の場を取材しお伝えしていきます。「ふたばのわ」を通して町民のみなさんのつながりや笑い合う場を増やしていけたら。



新しく制作された浜野はまなす会の獅子頭

- ▶ ふたばのわスマイルフォト特別版～あなたの笑顔でみんなを笑顔に(P2～3)
- ▶ ふたばのイトコ再発見!～奉納神楽(P4～5) ▶ ふたばのわスマイルフォト(P6)
- ▶ 福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ(P7)
- ▶ 放射線モニタリング情報・後世に残したい双葉町・編集後記(P8)

■発行：双葉町秘書広報課(☎0246-84-5202) ■企画・編集：ふたさぼ(双葉町復興支援員)



インターネットでもつなげようつながろうふたばのわ
(町公式フェイスブックページ)

▶ <http://facebook.com/fukushima.futaba>

あなたの笑顔で みんなを笑顔に

2016年がスタートしました。

今月号ではスマイルフォト特別版として各地で生活している町民のみなさんの笑顔をお届けします。

干支の十二支は、その昔、農作物の生育に関わる曆として利用されていきました。その9番目の「申(さる)」には、「伸ばす」という意味があり、「草木が十分に伸びきり、実が成熟して香りと味が備わり固く殻に覆われていく時期」を言うそうです。これまでのみなさんの努力が形になっていくような一年となるよう願っています。



紙面の都合上、このページに掲載できなかった写真も含め、撮影したすべての

スマイルフォトはYouTube双葉町公式チャンネルで公開しています。

タブレットや携帯電話でこちらのQRコードを読み取りスライドショーをご覧ください。





ふたばのイトコ再発見!

奉納神楽



「神楽」とは

「神楽」は神様の抛り所を示す言葉、「神座」が語源と言われています。「神座」を設けてそこを清め、神様の降臨と鎮魂のために舞うものの総称を「神楽」と言います。人々の長寿、豊穣な実り、また、災難を追い払うために祈禱を行いました。伝統芸能は継承される過程で、自然と多世代の交流が行われ、地域の「コミュニティ」が育まれることにもつながります。ふるさとの絆を強め、誇りを刻むために伝統芸能は大事な役割を担ってきました。

ダルマ市で行われた「奉納神楽」

双葉町では昭和50年代中頃から、ダルマ市の2日目に長塚の初發神社境内で奉納神楽が行われていました。もともと長塚村伝統のお祭りであったダルマ市で目玉となるような催し物ができないか、という声をきっかけに始まったとされています。

双葉町には各地区に芸能保存団体があり、多い時には12団体が神楽を奉納していました。地区ごとにその土地ならではの節や舞いを加え、少しずつ形を変えながらも継承されてきた神楽。奉納神楽は各地区の神楽が一堂に集まり、神楽を舞うことで、その土地独自の雰囲気を感じることができ催し物でした。



山田の神楽



郡山の神楽



新山の神楽



上羽鳥の神楽



長塚の神楽



渋川の神楽

浜野はまなす会

新家 俊美さん

親の代が浜野の八幡神社などで神楽を奉納している姿を幼い頃から見てきました。乱舞の滝を打つような太鼓が浜野の神楽の特徴。神楽の道具や装束は全て津波で流されましたが、昨年末、全て新調しました。記録映像などもなく、記憶だけが頼りですが、これまで受け継がれてきたものを大事にし、みなさんの力を借りながら勇壮な舞を復活させたいです。

諏訪神社氏子青年会(両竹)

佐藤 孝さん

両竹の神楽は、浪江町と双葉町の両竹地区が合同で継承しています。私が青年会に入ったばかりの時、初日の出が昇るころに、薄暗い神社の中を舞う神楽を見て、見事だなと感じたことを覚えています。神楽を次、また次の代へと継承するためにたくさん課題がありますが、今のうちであればもう一度奉納できる可能性があると思います。神楽の継承が難しい場合でも、せめて諏訪神社だけは守り、残したいと考えています。

長塚芸能保存会

河野 弘幸さん

長塚の神楽は消防第2分団メンバーが主体となり継承しています。東京から引越して来たため、幼い頃は長塚地区になじめないでいましたが「第2分団」に入らないかと声をかけられた時は地区の一員となれたようでとてもうれしかったです。また、13年に一度の初發神社御遷宮で頭を務めたことを今でも誇りに思っています。震災後初めてのダルマ市で神楽を奉納した際、絶対にこの伝統をなくしてはいけないと強く感じました。

下羽鳥えびす会

長谷川 清一さん

昭和55年、下羽鳥地区の盆踊りと神楽を継承する団体として作ったのが「下羽鳥えびす会」です。下羽鳥を流れていた戒川と、歳をとってもえびす顔でいられるようにという思いを込めて、その名前をつけました。芸能保存は体で覚えるものです。神楽奉納は20年以上行っていないませんが、「トントンパカパカトンパカ」と太鼓の音を言葉で表現し叩きながら覚えた拍子は今でも体に染みついています。

上羽鳥親羽会

野村 満さん

以前は、代々上羽鳥の神楽に携わっている松木さんの自宅で畳がさらりになるまで練習をしていました。四方固めの他、「鞠取り」という余芸まで継承しているのは、小さいころから自宅での練習を見ていた松木さんの存在があったからこそ。頭を始めて2年目に、「だんだん見られるようになってきた」と先輩から褒められた時は本当にうれしかったことを今でも覚えていています。

各地区の芸能保存団体に「神楽」への想いを聞きました。

渋川芸能保存会

吉田 清己さん

震災直後は神楽のことをあまり考えていませんでしたが、5年経ち、神楽をやっていた頃を懐かしく思い出します。保存会メンバーはそれぞれ使命感を持っていると思いますし、代々継承されてきたものを私たちの代で途絶えさせないわけにはいかないと感じています。まずは次の世代に神楽を見てもらう興味を持ってもらうことが大事。みんなで足並みを揃えて、自分達ができる範囲で後継者を育てたいです。

山田芸能保存会

菊地 安さん

山田地区にはもともと「七三」があったと聞いています。毎年12月になると公民館に集まり練習をしています。山田の神楽は雌の神楽。じつじつと、おしとやかな様子で、内股で舞うのが特徴です。私たちに神楽を教えてくれた師匠の舞は本当に見事でした。昨年、獅子頭を補修し、漆を塗り直しました。機会があれば、皆で協力し合い、山田の神楽を復活させたいです。

三字芸能保存会

岩川 孝一さん

三字の神楽はもともと水沢地区の神楽です。櫛(け)で叩いて特に重い獅子頭で舞う三字の神楽は、じつじつと重みがあるのが特徴です。頭を演じる時は太鼓の音を聞いた瞬間に気持が切り替わり、笛が鳴れば体が自然と動き出すものでした。道具を揃えてメンバーが集まれば、少しの練習ですぐにできるはず。今後のことを保存会で話し、復活させたいと思っています。

新山芸能保存会

白玉 直裕さん

新山の神楽は、黒い獅子頭と荒々しく舞う「黒獅子」が特徴。長年の経験と信頼関係により、失敗してもお互いにカバーし合えるため、いつも安心して舞を見ることが出来ます。お正月の興行では、多い時には2日間かけて各家を回り神楽を奉納していました。伝統を絶やしたくないが後継者不足が課題。町全体で伝統芸能を残していけるような取り組みが必要と感じています。

郡山無形文化財保存会

池田 勝治さん

郡山の神楽はリズム感がよく、メリハリがあるのが特徴で、伝統芸能関係者や他地区の方から高い評価をもらっています。震災前は小学生のうちから郡山地区の盆踊りの太鼓を教え、後継者の育成をしていました。震災後も伝統芸能祭りに出演したり、大字会での神楽奉納を行っています。昔からあった部落の伝統を何とか残したいと考えています。

ふたばのわ スマイルフォト

～笑顔でみんなをつなげたい～



11月22日
東京ふれあい双葉会バスツアー
(東京都内)



12月3日
県北ふたば会忘年会
(福島市)



12月6日
記憶の街ワークショップ
for双葉町(いわき市)



12月6日
双萩会忘年会
(仙台市)



12月9日
新そば・大えび天を
食べる会(白河市)



12月10日
あじさいクラブ椿の切り込み作り
(いわき市)



12月12日
双葉町つくば自治会忘年会
(つくば市)



12月12日
県中自治会クリスマス会
(郡山市)



12月12日
いわき・まごころ双葉会
クリスマス会(いわき市)



12月16日
日和田応急仮設住宅
コープふくしま食事会(郡山市)



12月17日
埼玉自治会・生協・ボランティアカフェ
合同クリスマス会(加須市)

厚生労働省福島労働局委託事業「福島雇用促進支援事業」 福島広域雇用促進支援協議会からのお知らせ

当協議会の面接会、各種セミナー・講習会へご参加いただいた方雇用保険受給者で証明書が必要な方へ参加証明書を発行します。

開催! 合同就職面接会in郡山

【郡山会場】

1/22(金) ビックパレットふくしま(郡山市南2丁目)
～多目的展示ホールB～



面接会に先立ち、パネルディスカッションを開催します。
業界の内部のお話を伺い、職業理解を深め、魅力ある企業を
発見し、熱い就職活動にしませんか!!

■パネルディスカッション……12:30～13:45 ■面接会……14:00～16:00
・参加企業40社程度(予定)

当日、東京方面から直通バスを運行します。(無料・予約制)

Uターンをお考えの方にも、ぜひお知らせください。
(行き)上野駅8:00発→ビックパレットふくしま12:00着
(帰り)ビックパレットふくしま16:00発→上野駅20:00着
※行きのみ、帰りのみの利用も可能です。ぜひご利用ください。

※詳細は当協議会ホームページをご覧ください。

開催! 合同就職面接会in相双

入退場自由・参加無料・履歴書不要・予約不要

と き:2/10(水) ■受付開始 12:30～
■開催時間 13:00～15:30

と ころ:ウエディングパーク相馬フローラ
(相馬市馬場野福迫391-2)

対 象 者:避難解除区域等から避難している求職者
福島県内に在住の求職者
福島県内の事業所に就職を希望される方

内 容:人材を求める市内事業所と、市内に就職を希望する方のマッチングを
行います。

※当日は「自己紹介カード」を記入していただき、各ブースを回って
いただきます。なお、「自己紹介カード」は、事前に当協議会ホーム
ページよりダウンロードすることもできます。また、履歴書を持参
いただき、希望企業に渡していただくことも可能です。

参加企業:相双地域を中心とした企業 30社程度

※詳細は当協議会ホームページをご覧ください。

開催! 合同就職面接会inいわき

【いわき会場】

3/8(火) いわき産業創造館
LATOV6階企画展示ホール(いわき市平)



■面接会……13:00～15:00 ・参加企業40社程度(予定)

当日、東京方面から直通バスを運行します。(無料・予約制)

Uターンをお考えの方にも、ぜひお知らせください。
(行き)上野駅8:30発→いわき産業創造館LATOV12:00着
(帰り)いわき産業創造館LATOV15:00発→上野駅18:30着
※行きのみ、帰りのみの利用も可能です。ぜひご利用ください。

※詳細は当協議会ホームページをご覧ください。

開催! 南相馬企業見学バスツアー

Iターンの方、Uターンの方、学生の方、ぜひご参加ください!

内 容:南相馬市に所在する、企業を見学します。
2日間の設定ですが、1日だけの参加も可能です。
普段見ることが出来ない企業の現場を見学できる貴重な機会です。
お気軽にご参加いただき、ぜひ進路選択にお役立てください。

日 程:2月18日(木)南相馬市内の企業3件・交流会
2月19日(金)南相馬市内の企業3件

定 員:各コース10名程度
バス乗車場所:東京発着コース/上野駅公園口
山形発着コース/山形駅東口
福島コース(日帰り可)/福島駅西口/いわき駅東口

費 用:無料(宿泊を希望される方は、宿泊代6,440円)

申込切 宿泊を希望する場合……2/ 7(日)
宿泊を希望しない場合……2/14(日)

そ の 他:ツアー中の食事は自己負担になります。(持参可能)

※集合時間や場所につきましては、
右記ホームページをご覧ください。

自分再発見セミナー!

各会場20名程度

「自分はどんな仕事に向いているのかな?」とお悩みの方へ
性格診断テストを使って、今の自分を振り返ります。
今まで気づけなかった自分の強みを再発見し、就職につなげ
ましょう。



【福島会場】2/9(火) 13:30～15:30

福島広域雇用促進支援協議会(福島市中町)……締切:2/4(木)

【郡山会場】3/8(火) 13:30～15:30

郡山市民交流プラザ(郡山市駅前)……締切:3/3(木)

申込方法: FAX、電話、Webサイトのいずれかでお申込ください。

笑いの先に“就職”あり!

定員10名程度

就職活動での悩みや逆境をユーモアに置き換えて、
ポジティブに前に歩き出し、就職活動をスタートしましょう!



【郡山会場】2/25(木) 13:30～15:30(受付13:00～)

郡山市民中央公民館(郡山市麓山)
……締切:2/24(水)

申込方法: FAX、郵送、Webサイト、電話のいずれかでお申込ください。

ふくしまで働きませんかセミナー!

(就職前基礎編)

定員10名程度

「履歴書」「応募」「面接」の悩みに応えます。

【いわき会場】1/21(木) 13:00～16:00(受付12:30～)

株式会社アカデミー(いわき市中央台)
……締切:1/20(水)



申込方法: FAX、郵送、Webサイト、電話の
いずれかでお申込ください。

“ほめ達”思考トレーニング講座

(コミュニケーション能力講座)

各会場20名程度

起こる出来事の価値を発見することができます。
他人及び自分を認め、あなたもほめる達人に変われます。

【いわき会場】1/28(木) 13:30～15:30(受付13:00～)

いわき産業創造館-LATOV-(いわき市平)
……締切:1/25(月)



【郡山会場】2/4(木) 13:30～15:30(受付13:00～)

郡山市民中央公民館(郡山市麓山)……締切:2/1(月)

申込方法: FAX、郵送、Webサイト、電話のいずれかでお申込ください。

ビジネスマナー・パソコン基礎講座!

(就職後基礎編)

定員20名

「パソコン操作の基礎」と「ビジネスマナー」の両方が学べます。
受講日数10日間

【福島会場】1/25(月)～2/5(金)9:20～16:00

福島県青少年会館(福島市黒岩)
……締切:1/18(月)



申込方法: FAX、郵送、Webサイトのいずれかでお申込ください。

●各種イベントへのお申込み方法について

【郵送でのお申込み】

協議会住所: 〒974-8212
福島県いわき市東田町2丁目19-4
双葉町役場いわき事業所産業建設課内 [担当 鈴木]

【FAXでのお申込み】

FAX番号: 0246-84-6286

【Webからのお申込み】

ホームページ <http://www.fkkoyou.net/>

働きたいネット

検索



放射線モニタリング情報

福島県内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

平成27年12月25日

- ①福島市 北幹線第二応急仮設住宅 ……0.14~0.23
- ②福島市 さくら応急仮設住宅 ……0.13~0.20
- ③郡山市 日和田応急仮設住宅 ……0.13~0.24
- ④郡山市 喜久田応急仮設住宅 ……0.09~0.75
- ⑤郡山市 富田応急仮設住宅 ……0.22~0.27
- ⑥いわき市 南台応急仮設住宅 ……0.04~0.06
- ⑦猪苗代町 上川原応急仮設住宅 ……0.08~0.09
- ⑧会津若松市 第二中学校西応急仮設住宅 ……0.08~0.09
- ⑨白河市 郭内応急仮設住宅 ……0.10~0.15
- ⑩福島市 県北保健福祉事務所 ……0.21
- ⑪郡山市 県郡山合同庁舎 ……0.12
- ⑫白河市 県白河合同庁舎 ……0.09
- ⑬会津若松市 県会津若松合同庁舎 ……0.06

- ⑭南会津町 県南会津合同庁舎 ……0.05
- ⑮南相馬市 県南相馬合同庁舎 ……0.09
- ⑯いわき市 県いわき合同庁舎 ……0.07



双葉町内 (単位: $\mu\text{Sv}/\text{時}$)

地区	地点	平成24年 4月1日	平成27年 12月25日
新山	新山公衆トイレ脇公営駐車場	—	0.74
新山	新山公民館	—	0.50
新山	双葉町歴史民俗資料館	—	0.48
新山	双葉南小学校	—	0.51
新山	双葉中学校	—	0.25
新山	県立双葉高等学校	—	0.31
新山	中央公園	—	0.68
下条	双葉総合公園	2.60	1.05
下条	双葉町役場	—	0.35
郡山	郡山公民館	1.48	0.63
細谷	細谷公民館	2.31	0.77
三字	三字公民館	2.53	—
山田	山田農村広場	24.47	7.93
石熊	石熊公民館	12.10	4.59
長塚	双葉町体育館	6.25	2.26
長塚	長塚二公民館	3.26	1.06

地区	地点	平成24年 4月1日	平成27年 12月25日
長塚	双葉町青年婦人会館	—	2.45
長塚	町西住宅	—	0.49
長塚	JAふたば北部営農センター	—	7.29
長塚	双葉北小学校	—	2.06
長塚	ふたば幼稚園	—	1.85
長塚	双葉駅北側駐車場	—	0.49
長塚	双葉町児童館	—	0.38
羽鳥	上羽鳥	1.89	0.83
羽鳥	羽鳥公民館	1.73	0.67
寺松	寺松公民館	3.46	1.35
渋川	渋川公民館	1.48	0.58
鴻草	北部コミュニティーセンター	4.30	1.75
中田	中田公民館	0.77	0.33
両竹	両竹公民館	0.54	—
浜野	浜野公民館	0.34	0.14

原子力規制委員会ホームページより

※全国及び福島県の空間線量測定結果については原子力規制委員会ホームページでご覧になれます。▶<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

編集後記

2016年最初の「ふたばのわ」いかがでしたでしょうか。各地の健康サロンなどで行われている笑いヨガ教室でも学びましたが、笑顔には、幸せな気持ちをもたらす、気持ちを安定させるだけでなく、様々な効果で健康を促進させる力があるそうです。また、笑顔の連鎖反応によって周囲の人をも幸せな気持ちにしてくれます。各地で照れながらもスマイルフォートの撮影にご協力いただいたみなさん、また、撮影しながら楽しいお話を聞かせてくださったみなさん、本当にありがとうございました。今年も一年、たくさんの笑顔にお会いできることを楽しみにしています！

(ふたさぼ 山根光保子)

後世に残したい双葉町

山田地区に住んでいた私は、自宅から双葉南小学校へ6年間バスで通学していました。暑い日も寒い日も毎日乗り降りしていたのが広町公園にあるバス停でした。



朝、バスから降りるといつも近所のおじさんが旗を持って立っていて、横断歩道を渡らせてくれました。近所のおばあちゃんにお菓子をもらったことも覚えています。

帰りのバスの待ち時間には公園のブランコやシーソーで遊んだり、バス通ではない友達と一緒に「たかおに」をして遊んだり、遊びに夢中になりすぎて一本遅いバスで帰ったこともありました。

小学校6年間の思い出を語るには欠かせない広町公園。いつも子どもたちの声が響く憩いの場として残すことができたらうれしいです。